

俳句を味わう①

赤い椿 白い椿と 落ちにけり

河東碧梧桐

赤い椿の花がおち、白い椿の花もおちてゆく

※様々な見解があります。

季語

季節

句切れ

切れ字

技法

バスを待ち 大路の春を うたがはず 石田波郷

バスを待ちながら大通りに立っていると、春が来たとしっかり感じる

季語

季節

句切れ

切れ字

萬緑の 中や吾子の歯 生え初むる 中村草田男

夏らしい緑の景色の中、わが子に初めての白い歯が生えてきた。(色の対比)

季語

季節

句切れ

切れ字

飛び込みの もう真っ白な 泡の中 神野紗希

飛び込んでたらあつという間に真っ白な泡の中にいたよ

季語

季節

句切れ

切れ字

技法

くろがねの 秋の風鈴 鳴りにけり 飯田蛇笏

くろがね(黒い鉄)の風鈴が、秋の風にふかれて鳴っているなあ

季語

季節

句切れ

切れ字